

3

One day, a mouse picked up a mirror and took it back to his nest.

The mirror was called the “Magical Mirror” and it had the power to make anyone who looks into the mirror believe that they have become stronger.

The mouse saw himself reflected in the mirror and fell for the magic instantly.

“I am the strongest animal in the world!”

He screamed, and then dashed outside of his nest.



5

“C’mon! I will fight anyone!”

The mouse was being very arrogant as he walked down the path.

After walking for a little while, a wild rat-woman, who was resting under the tree, came along and told him:

“Hey, you are arrogantly walking on the middle of the road; if you bump into an elephant, you are in big trouble.”

“An elephant? What is that?”

“An elephant is an animal that is the biggest and strongest in the world.”

“What! No way, I am stronger than elephants! Hmm, well I’m going to fight him!”



あるひ、いっぴきの ねずみが、いちまいの
かがみを ひろい、すあなに もちかえりました。

この かがみは『まほうの かがみ』といい、
そこに じぶんの すがたを うつしたものは、
みな つよくなったと おもいこむ
まほうに かかってしまうのです。

かがみに うつった じぶんを みた ねずみは、
すぐに その まほうに かかってしまいました。

「おれは せかいで いちばん つよい どうぶつだ！」

ねずみは そう さげぶと、
すあなを とびだしていきました。



「さあ こい! どんな やつでも
あいてに なってやる!」

ねずみは えらそうに ふんぞりかえって
あるいていきました。

しばらく いくと、こかげで やすんでいた、
のねずみの おばあさんが はなしかけてきました。

「これ、そこの ぼうや。

えらそうに みちの まんなかを あるいているけど、
それでもし ぞうに であったら、
たいへんなめに あうよ」

「ぞう? ぞうって なんだい?」

「ぞうは、せかいで いちばん おおきくて つよい
どうぶつさ」

「なんだって! おれの ほうが ぞうなんか より
ずっと つよいぞ。よし、その ぞうってやつと
しょうぶしてやる!」

